

道徳科学習指導案 本時の展開 2年「たけしの電話」(文部省読み物資料)

主題名 「礼儀正しい受け答え」〔B- (9) 礼儀〕

ねらい 電話の受け答えについて話し合うことを通して、場にあった言葉遣いをする中で自分も相手も気持ちよく過ごせることに気づき、人に対して気持ちのよい言葉遣いや行動をしようとする気持ちをもつことができる。

選	学習活動	主要な予想される児童生徒の反応	欄	指導上の留意点・支援
導入	1 学習課題を設定する。	<p>れいぎって知っていますか？</p> <p>電話を受けたときに、どんなふうに話しましたか。</p> <p>・大人の人からで、ドキドキした。</p> <p>・何て答えたらよいか分からなかった。</p> <p>(学習課題)「れいぎ正しい受け答えをすると、どんなよいことがあるだろう。」</p>	5	<p>・礼儀には具体的には挨拶や言葉遣い、所作や動作などの作法があること知らせるとともに、本時は電話の受け答えについて考えていくことを知らせる。</p> <p>・「今まで自分が電話を受けたときの体験(相手が大人るとき、友だちのとき)や気持ち」を話し合い、自分との関わりで問題意識をもたせ学習課題を設定させる。</p>
展開前段	2 学習課題について話し合う。	<p>たけしの電話の受け方でほめられたところは、どんなところだろう。</p> <p>・丁寧な言葉遣いをしている。</p> <p>・はきはきしている。</p> <p>テレビの音を小さくしたたけしは、どんな気持ちなのだろう。</p> <p>・おかあさんがよく聞こえるように。 (お母さんへの気遣い)</p> <p>・相手の人によけいな音がきこえないように。 (相手への気遣い)</p> <p>れいぎ正しい 受け答えをすると、どんなよいことがあるだろう。</p> <p>・気持ちがよい。 自分も。 相手も。</p> <p>・正しく伝わる。</p>	30	<p>・たけしがほめられた電話の受け答えのよさを考えさせるために、資料範読後、たけしが電話を受けている様子を教師が動作化して示す。</p> <p>・電話の会話は、用件を正確に伝えなくてはならないことと、相手の立場を考慮しなければならないことを気付かせるために、教師が動作化をする。</p> <p>・真心のこもった動作は、見えていなくても伝わるものだというように気付かせたい。</p> <p>・気持ちのよい受け答えを実感させるために、児童同士の電話の役割演技を行わせ、感想を伝え合う。</p> <p>・実生活に生かしたり、目上の人を尊敬する態度を表したりできるように、電話の受け答えのよさについての意見が十分でた後に、電話の他にどんな場面で受け答えがあるか問う。 [補助発問]「れいぎ正しい受け答えは、電話のほかに、どんな場面があるかな。」</p>
展開後段・終末	3 振り返る。 ・ワークシートに学んだことを自分の言葉でまとめる。 ・発表する。	<p>きょうのどうとくで、たいせつだなとおもうことはなんでしょう。 これから、こうしたいなとおもうものなど、じゅうにかきましよう。</p> <p>・れいぎ正しい受け答えは、自分も相手も気持ちがいいと思いました。わたしは、はじめて会う人とうまくはなせないけれど、これからは、大きな声で、へんじをしてみようかなと思いました。</p>	10	<p>・自分を見つめさせるために、解決した学習課題と照らし合わせて、学んだことを自分の言葉で書くように促す。</p> <p>・深めた道徳的価値を共有するために、数名に発表させる。</p> <p>・学んだことをこれから生かして生活するよう伝える。</p>

評価 ・「礼儀正しい受け答え」についてよく考え、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしている。(話し合いの様子)
・「礼儀正しい受け答え」について学んだことを、自分の言葉で書いている。(ワークシート)

道徳科学習指導案 本時の展開 2年「たけしの電話」(文部省読み物資料)

主題名 「礼儀正しい受け答え」〔B- (9) 礼儀〕

ねらい 電話の受け答えについて話し合うことを通して、場にあった言葉遣いをする中で自分も相手も気持ちよく過ごせることに気づき、人に対して気持ちのよい言葉遣いや行動をしようとする気持ちをもつことができる。

選	学習活動	主要発問と予想される児童生徒の反応	欄	指導上の留意点・支援
導入	1 学習課題を設定する。	<p>れいぎって知っていますか?</p> <p>電話を受けたときに、どんなふうに話しましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人の人からで、ドキドキした。 ・何て答えたらよいか分からなかった。 <p>(学習課題)「れいぎ正しい受け答えをすると、どんなよいことがあるだろう。」</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀には具体的には挨拶や言葉遣い、所作や動作などの作法があること知らせるとともに、本時は電話の受け答えについて考えていくことを知らせる。 ・「今まで自分が電話を受けたときの体験(相手が大人るとき、友だちのとき)や気持ち」を話し合い、自分との関わりで問題意識をもたせ学習課題を設定させる。
展開前段	2 学習課題について話し合う。	<p>たけしの電話の受け方でほめられたところは、どんなところだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な言葉遣いをしている。 ・はきはきしている。 <p>テレビの音を小さくしたたけしは、どんな気持ちなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おかあさんがよく聞こえるように。 (お母さんへの気遣い) ・相手の人によい音がきこえないように。 (相手への気遣い) <p>れいぎ正しい 受け答えをすると、どんなよいことがあるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちがよい。 自分も。 相手も。 ・正しく伝わる。 	30	<ul style="list-style-type: none"> ・たけしがほめられた電話の受け答えのよさを考えさせるために、資料範読後、たけしが電話を受けている様子を教師が動作化して示す。 ・電話の会話は、用件を正確に伝えなくてはならないことと、相手の立場を考慮しなければならないことを気付かせるために、教師が動作化をする。 ・真心のこもった動作は、見えていなくても伝わるものだという事に気付かせたい。 ・気持ちのよい受け答えを実感させるために、児童同士の電話の役割演技を行わせ、感想を伝え合う。 ・実生活に生かしたり、目上の人を尊敬する態度を表したりできるように、電話の受け答えのよさについての意見が十分でた後に、電話の他にどんな場面で受け答えがあるか問う。 [補助発問]「れいぎ正しい受け答えは、電話のほかに、どんな場面があるかな。」
展開後段・終末	3 振り返る。 ・ワークシートに学んだことを自分の言葉でまとめる。 ・発表する。	<p>きょうのどうとくで、たいせつだなおもうことはなんでしょう。これから、こうしたいなおもうものなど、じゆうにかきましょう。</p> <p>れいぎ正しい受け答えは、自分も相手も気持ちがいいと思いました。わたしは、はじめて会う人とうまくはなせないけれど、これからは、大きな声で、へんじをしてみようかなと思いました。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめさせるために、解決した学習課題と照らし合わせて、学んだことを自分の言葉で書くように促す。 ・深めた道徳的価値を共有するために、数名に発表させる。 ・学んだことをこれから生かして生活するよう伝える。

評価 ・「礼儀正しい受け答え」についてよく考え、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしている。(話し合いの様子)

・「礼儀正しい受け答え」について学んだことを、自分の言葉で書いている。(ワークシート)

道徳科学習指導案 本時の展開 4年「金色の魚」(文部科学省読み物資料)

主題名 「節度のある生活」〔A-(3) 節度、節制〕

ねらい かくれてしまった金色の魚の気持ちを考え、話し合うことを通して、自分自身で考えて、度を過ごすこと
 とのなく、節度ある生活をしようとする気持ちをもつことができる。

選	学習活動	主発問と予想される児童生徒の反応	欄	指導上の留意点・支援
導入	1 学習課題を設定する。	<p>ほしいものが手に入ったときって、どんな気持ちだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい。 ・もっとほしくなる。 <p>(学習課題)「ほしいものがどんどん手に入る生活って、どんなだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい。・楽しい。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほしいものが手に入ったとき」や「どんどんほしいものが手に入ったとき」の体験や気持ちを話し合うことを通して、自分との関わりで問題意識をもたせ、学習課題を設定させる。
展開 前段	2 学習課題について話し合う。	<p>新しいおけをあげた金色の魚は、どんな気持ちなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にがしてくれたいお礼がしたい。 <p>だまって海の底へかくれてしまった金色の魚は、どんな気持ちなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは、お礼がしたいと思っていたけれど、その気持ちがなくなってしまった。 ・おばあさんの要求にうんざりしてきた。 ・このままつきあっていたら、自分がたいへんなことになる。 <p>ほしいものがどんどん手に入る生活って、どんなだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは、楽しいかもしれないけれど、自分で手に入れたものではないと大事にしなくなる。 ・がんばって手に入れたものではないから、すぐあきる。 ・がんばることをしなくなる。 ・人によく思われない。・幸せではない。 	30	<ul style="list-style-type: none"> ・あらすじを理解させるために、資料は範読し挿絵を掲示する。 ・金色の魚の気持ちが変わったのは、エスカレートする相手の要求が原因であることに気付けるように、金色の魚の気持ちを、おけをあげたときとだまってかくれてしまったときの両方を考えさせ、特にだまってかくれしまった気持ちに重点をおいて考えさせる。 ・児童が発言した意見から話し合いがすすむように、教師は児童の発言を問い返して具体化させたり理由をたずねたりし、児童の考えを広げたり深めたりしていくようにする。 「もう少し、くわしく話して」 「～はどういうことかな」など ・節度(人に迷惑をかけないように、自分がそうしたいと思う事でも良識の許す程度に抑制すること)のある生活することが大切なんだというところにまで児童の考えがおよぶように、ペアで話し合わせてから全体での話し合いをさせる。 ・節度という言葉は児童の身近ではないので、児童なりの表現で学習課題についての考えがまとめていければよいこととする。
展開 後段 ・ 終末	3 振り返る。 ・ワークシートに学んだことを自分の言葉でまとめる。 ・発表する。	<p>今日学んだことは何だろう。これまでの自分はどうだっただろう。これからの自分はこうしたいと思うことなど書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほしいものがどんどん手に入ったらうれしいとはじめは思ったけれど、がんばる気持ちがなくなっちゃうのはいやだなと思った。これから自分の生活に大切なものは何かよく考えてよくばりにならないようにしたい。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめさせるために、解決した学習課題と照らし合わせて、学んだことを自分の言葉で書くように促す。 ・友達の見解から学んだことがあればくわしく書くように促す。 ・深めた道徳的価値を共有するために、数名に発表させる。 ・学んだことをこれから生かして生活するよう伝える。

評価 ・「節度のある生活」についてよく考え、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしている。(話し合いの様子)

・「節度のある生活」について学んだことを、自分の言葉で書いている。(ワークシート)

道徳科学習指導案 本時の展開 6年「言葉のおくり物」(文部省読み物資料)

主題名 「よりよい仲間」〔B- (10) 友情、信頼〕

ねらい 周囲の人間の行動や心情について考えることを通して、友達と信頼し合い、磨き合い、高め合うような、互いの人格を尊重し合う人間関係を築いていこうとする意欲をもつことができる。

選	学習活動	主要と予想される児童の反応	欄	指導上の留意点・支援
導入	1 学習課題を設定する。	<p>クラスの仲間といて、楽しいときって (いやなときって) どんなときですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊んでいるとき。 (・からかわれるとき。) <p>(学習課題)「よりよい仲間になるために大切なことは何だろう。」</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> 「よりよい仲間」とは今の自分がどう捉えるのか向き合わせるために、「仲間といて楽しいときといやなとき」についての体験等を話し合わせる。 自分との関わりで問題を捉えさせるために、読み物資料の出来事を代表児童に役割演技させ、その出来事について話し合うことを通して、問題意識をもたせ、学習課題を設定させる。
展開前段	2 学習課題について話し合う。	<p>一郎の気持ちを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> からかわれるのはいやだな。 すみこがいやではないのに、話すことをさけてしまう。 あんなにからかわれていたのだから文句をいってもいいのに。 <p>周りの人たちの気持ちを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> おもしろいな。(ひやかす人) そんなこと言わない方がいい。(気づかう人) くだらない。(無関心な人) <p>はくしゅをしているみんなは、どんな気持ちなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> すみこさんの言葉に感動。りっぱなことを言っている。 すみこはすごい。みんなの前で言いつらいことを言っている。 <p>[補助発問(どうしてすみ子はみんなの前で言えたのか?)]</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなを信頼していたから。 <p>[補助発問(どんな仲間?)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 信頼している。 助け合おうとしている。 	30	<ul style="list-style-type: none"> 資料前半(運動会の場面まで)のクラスの様子は、「よりよい仲間関係でない」ことに気付けるように、一郎とまわりの人たちの気持ちを通して考えさせる。 よい関係でないのは、当事者だけでなく、まわりの人の心情や行動が影響していることに自分のこととして気付いていけるように、自分がこのクラスにいたら、どういう気持ちか考えさせる。[補助発問]「3人だけの問題なのだろうか」「みんながこのクラスにいてこのうわさをきいたら、どんな気持ちになるだろうか」 周りの人間にはさまざまな見方や考え方があるのに気付けるように児童の発言の理由を問い返していく。 学習課題の解決に向けて話し合いを行わせるために、資料のクラスの状態でよいか問いかけてから資料後半の範読を聞かせる。 資料のみんなの気持ちに共感できるように、全員で「はくしゅ」を動作化させ、拍手はどんなときにするものか問いてから、意見をださせる。 資料のみんなは、どんな仲間なのか考えを広げていけるように、児童の発言の理由を問い返していく。 <p>[補助発問]「どうしてすみ子はみんなの前で言えたの?」「はくしゅをしているみんなはどんな仲間?」</p> <ul style="list-style-type: none"> 話合ってきたことから学習課題の解決につなげるために、学習課題を再び問う。
展開後段・終末	3 振り返る。 ・ワークシートに学んだことを自分の言葉でまとめる。 ・発表する。	<p>今日学んだことは何だろう。これまでの自分はどうだっただろう。これからの生活にいかしていこうと思うことなど、自由に書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の話合いで「言いにくいことも言いあえる信頼」が大事だと思った。わたしは今までよくないことを気付かないふりをしていた。これからは、助け合いたい。 	10	<ul style="list-style-type: none"> 自分を見つめさせるために、解決した学習課題と照らし合わせて、学んだことを自分の言葉で書くように促す。 友達の意見から学んだことがあれば詳しく書くように促す。 深めた道徳的価値を共有するために数名に発表させる。 学んだことを生かし、これからも考え続けて、このクラスも更により仲間づくりをしてほしいことを伝える。

評価 ・「よりよい仲間」についてよく考え、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしている。(話し合いの様子)
・「よりよい仲間」について学んだことを、自分の言葉で書いている。(ワークシート)

道徳科学習指導案 本時の展開 6年「手品師」(文部省読み物資料)

主題名 「明るく生きる」〔A-(2) 正直、誠実〕

ねらい どちらを選ぶか迷うときの気持ちを考え、話し合うことを通して、自分自身に対する誠実さや誇り、自信をもって明るく生きていこうとする気持ちをもつことができる。

選	学習活動	登場人物と想像される児童の反応	欄	指導上の留意点・支援
導入	1 学習課題を設定する。	<p>どちらかに決めなくてはならなくて迷ったときに、決め手となったものは何ですか。</p> <p>・自分の都合。・相手への思い。・相手の誘い。</p> <p>(学習課題)「決断するときに、大切にすることは何だろう。」</p>	5	<p>・児童の日常生活から「物事のどちらかに決めなくてはならなかった」体験や気持ちを想起させて話し合うことを通して、自分との関わりで「決断するときに大切にしているもの」について問題意識をもたせ学習課題を設定させる。</p>
展開 前段	2 学習課題について話し合う。	<p>自分が手品師だったら、どちらを選ぶだろう。</p> <p>〈大劇場へ行く〉選んだ理由</p> <p>・自分の夢を叶えたいから。</p> <p>・男の子との約束が守れないけれど(後悔)、チャンスは一度だけかもしれない。</p> <p>〈男の子のところへ行く〉選んだ理由</p> <p>・約束を守りたいから。</p> <p>・自分の夢を叶えるチャンスはなくしてしまうけれど(後悔)、男の子をがっかりさせたくない。</p> <p>決断するときに、大切にすることは何だろう。</p> <p>・自分の気持ちに真面目に向き合うこと</p> <p>・自分の気持ちに正直なこと</p> <p>・自分の気持ちも相手の気持ちも傷つけないこと</p>	30	<p>・本時の学びに対して自分のこととして考えていけるようにするため、読み物資料前半(「迷いに迷っていました。」まで)の範読を聞いた後、「自分だったらどちらを選ぶか」を理由とともに考え、付箋紙に書かせる。</p> <p>・どちらの選択も、よさもあり、後悔するものもあることをおさえるとともに、どちらの選択にも自分の気持ちに誠実に向き合っていることに気付いていけるように、選択した理由をくわしく発言させていく。</p> <p>・どちらを選択しても、決断したのは、自分であり、その自分が真剣に誠実に考えての決断であることをおさえるとともに、自分自身に誠実に生きようとする気持ちが明るい心となって行動に表れてくることに気付かせるために、手品師の決断したときの挿絵だけを提示し、自分の気持ちに誠実であるすがすがしい表情をとらえさせ、手品師がどちらを決断したかは知らせずに考えさせていく。</p> <p>・導入で引き出した児童の発言を再度想起させ、自分の体験と重ね合わせながら、学習課題について話し合いを進めさせる。</p>
展開 後段 ・ 終末	3 振り返る。 ・ワークシートに学んだことを自分の言葉でまとめる。 ・発表する。	<p>今日学んだことは何だろう。これまでの自分はどうだっただろう。これからの生活に生かしていこうと思うことなど書きましよう。</p> <p>・自分が後悔しないように、納得のいくまでよく考えたい。自分も相手も大事にする決断をしたい。自分の気持ちにうそがなかったら、すがすがしく生活できると思う。</p>	10	<p>・自分を見つめさせるために、解決した学習課題と照らし合わせて、学んだことを自分の言葉で書くように促す。</p> <p>・友達の見解から学んだことがあれば詳しく書くように促す。</p> <p>・深めた道徳的価値を共有するために、数名に発表させる。</p> <p>・学んだことをこれから生かして生活するよう伝える。</p>

評価・「決断するときに大切にしているもの」についてよく考え、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしている。(話し合いの様子)

・「決断するときに大切にしているもの」について学んだことを、自分の言葉で書いている。(ワークシート)